

# 名家探訪画帖

その一

文楽座

豊竹山城少掾



古靱太夫のフクミ笑ひの中から、こんなことを聞いた。

「レコードには、私はチョット気に入らんことがあるんです」と云ふのは「間」のよさがレコードにかゝるとジイジイと云ふ無駄な回轉となつてプチ壤はされるからで、藝の内で淨るりほど間を生かし聞かせるものはない。ト言ふ訳でレコードを嫌ふのである。特に同師は間の達人であるだけにうなづける。今度吹込んだ「道明寺」もさぞかしニガイ顔をして科學古靱の聲をきいてゐることと思はれます。

繪と文 藤原せいけん